

第 8 回人工物工学コロキウム「デジタル時代のサービスづくりと人工物」開催案内

工学系研究科 附属施設である人工物工学研究センターは、全学センター時の 2002 年にサービス工学研究部門を先駆けて設置し、国内における分野横断型のサービス研究教育に大きな影響を与えてきた。本コロキウムでは、サービス工学の歴史を概説しつつ、社会経済のデジタル化の進展によって多様化した近年の取り組みを紹介する。また、各分野で著名な方々より、デジタル時代における製造業のサービス化の欧州動向、様々な分野間でのデータ流通を前提としたサービスづくり、および人工知能(AI)を活用した魅力創出とその課題についてご講演いただく。以上を通じて、デジタル時代のサービスづくりと人工物との関係を議論したい。

■日程: 2023 年 10 月 16 日(月) 14:30-18:00 (Zoom ウェビナーを用いたハイブリッド開催)

■場所: 東京大学 本郷キャンパス 工 3 号館 31 号講義室 (https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_04_j.html)

■主催／共催

- ・ 主催: 東京大学大学院 工学系研究科 人工物工学研究センター
- ・ 共催: 総括プロジェクト機構「Quality と Health を基盤におくサービスエクセレンス社会システム工学」総括寄付講座

■申込方法

- ・ [イベントHP](#)、または右のフォームより直接お申し込みください(<https://forms.gle/CfwDodyFmpLg95rVA>)。
- ・ 申し込まれた方々に対して、10/10(火)を目安に Zoom ウェビナーの情報をお送り致します。
- ・ その後も聴講申込はイベント終了まで受け付けますが、情報交換会の申込は 9/29(金)までです。



■プログラム

14:30-14:40	開会挨拶 加藤 泰浩(東京大学大学院 工学系研究科長)
14:40-15:10	「サービス工学と人工物」 原 辰徳(人工物工学研究センター 准教授)
15:10-15:40	「サービス創出のためのデータ流通基盤」 越塚 登(東京大学大学院 学際情報学府 教授)
15:40-16:10	「人工知能(AI)を活用した魅力創出とその課題」 山崎 俊彦(東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授)
16:10-16:20	休憩
16:20-16:50	「デジタル時代における製造業のサービス化の欧州動向」 坂尾 知彦(リンショーピング大学 経営・工学部門 教授) *オンライン講演
16:50-17:20	サービス工学についての代表的な拠点での取り組み紹介(ショート講演) 「産業技術総合研究所 人間拡張研究センターにおけるサービス工学の取り組み」 竹中 毅(産業技術総合研究所 人間拡張研究センター サービス価値拡張研究チーム長) 「つくばの“社工“におけるサービス工学学位プログラムの取り組み」 岡田 幸彦(筑波大学 システム情報系/人工知能科学センター 教授) *オンライン講演(予定)
17:20-17:50	総合討論
17:50-18:00	閉会挨拶 高橋 浩之(人工物工学研究センター長)
18:15-19:45	情報交換会(工 2 号館 展示室)、参加費 2,000 円(9/29(金)までにお申し込みください)

(参考)

東京大学大学院 工学系研究科 人工物工学研究センターは、これまでに確立された人工物工学の基盤を発展させ、人類の持続可能性に資する次世代ものづくり(製品のみならず、そのライフサイクルを通じたサービスも含む)に関する研究教育と社会実装を推進する、工学系研究科の附属施設として本郷キャンパスに2019年に設置された新たなセンターです。

センターでは、東京大学工学系研究科の研究者が中心となりつつ、他分野の研究者と協力し、技術のみならず価値や受容性など、広く人や社会と技術の関係まで考慮し、学際的な取り組みによって問題解決の手段を模索するとともに、ニーズ駆動型の次世代ものづくりの研究教育を行っています。センター内に価値創成部門、認知機構部門、実践知能部門の3つの部門を設置され、価値創成部門においては新しいモノづくり及びモノ・サービスエコシステムの設計、認知機構部門においては人と人工物の認知過程及び人に資する人工物作り、実践知能部門においては人工知能をはじめとする知能化技術の理論と実践の融合に関する教育研究を行っています。

人工物工学研究センターでは年に2回ほど、人工物工学コロキウムと呼ぶ公開シンポジウムを開催し、人工物工学と関わりのある学内外の方をお招きし、話題提供と議論をしております。

(過去の開催テーマと担当部門)

- ・ 第7回人工物工学コロキウム:SDGS時代の物流システムのデザイン(実践知能部門/青山)
- ・ 第6回人工物工学コロキウム:DXに向けたデジタルエンジニアリングの進化(認知機構部門/大竹)
- ・ 第5回人工物工学コロキウム:ダイナミック人工物(実践知能部門/青山)
- ・ 第4回人工物工学コロキウム:つながる人工物システム(価値創成部門/杉田)
- ・ 第3回人工物工学コロキウム:人・もの・社会の共存を目指す人工物工学(認知機構部門/太田)
- ・ 第2回人工物工学コロキウム with ものづくり経営研究センター:今求められる次世代ものづくり戦略(価値創成部門/梅田)
- ・ 第1回人工物工学コロキウム:多数パラメータと科学技術(実践知能部門/松尾)

各回の開催報告は、人工物工学研究センターの研究年報に掲載しています。

<http://race.t.u-tokyo.ac.jp/about/report/>